

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 26 年 3 月 20 日 (2014.3.20)

【公開番号】特開 2012-170831 (P2012-170831A)

【公開日】平成 24 年 9 月 10 日 (2012.9.10)

【年通号数】公開・登録公報 2012-036

【出願番号】特願 2011-32038 (P2011-32038)

【国際特許分類】

B 0 5 D 1/32 (2006.01)

B 0 5 D 3/12 (2006.01)

C 0 9 D 9/00 (2006.01)

【F I】

B 0 5 D 1/32 A

B 0 5 D 3/12 E

C 0 9 D 9/00

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 1 月 30 日 (2014.1.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

下地基材に堆積される塗料堆積物を前記下地基材から剥離する塗膜の剥離方法であって

、

ラジカル共重合性不飽和樹脂と重合性単量体の混合物を主成分とし、硬化物として破断までの引張り伸び率が、10%以上の樹脂組成物を剥離用皮膜として、前記下地基材上に形成して、前記剥離用皮膜を硬化させ、前記剥離用皮膜上に塗料堆積物が堆積された後に、前記下地基材から前記剥離用皮膜を引き剥がすことを特徴とする塗膜の剥離方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記従来例の問題点を解決するための本発明は、下地基材に堆積される塗料堆積物を下地基材から剥離する塗膜の剥離方法であって、ラジカル共重合性不飽和樹脂と重合性単量体の混合物を主成分とし、硬化物として破断までの引張り伸び率が、10%以上の樹脂組成物を剥離用皮膜として、下地基材上に形成して、剥離用皮膜を硬化させ、剥離用皮膜上に塗料堆積物が堆積された後に、下地基材から剥離用皮膜を引き剥がすことを特徴とする。